

送配電部門における コスト削減に向けた取組

2019年3月29日
北陸電力株式会社

1. 公表主旨

- 現在、電力系統を取り巻く事業環境は、中長期的な人口減少や省エネルギーの進展等により電力需要が伸び悩む一方で、再生可能エネルギーの導入拡大による系統連系ニーズの増加、経済成長に応じて整備されてきた送配電設備の高経年化への対応が増大するなど大きく変化しつつあります。
- こうした事業環境の変化に対応し、再生可能エネルギーの最大限の導入を図りつつも、導入拡大等に伴い増大する送配電設備に係るコストを抑制する必要があります。
- これまでも当社は、効率化に資する取組として、仕様・工法の見直し（新材料の採用や点検周期の延伸など）や調達方法の工夫（競争発注の拡大、VE提案※¹など）を行ってまいりました。
- この度、送配電設備に係るコストの更なる削減に向けて、当社は、他の一般送配電事業者と3品目※²の仕様統一を進めるとともに、引き続き調達方法の工夫に取り組んでまいります。
- 当社は、仕様統一化および調達方法の工夫について、取組状況を公表いたします。

※¹ 取引先よりコスト低減につながる技術提案と見積の提出を求め、仕様に反映することで調達価格の低減を図る手法

※² 架空送電線（ACSR/AC：アルミ覆鋼心アルミより線）

ガス遮断器（66kV・77kV）

地中ケーブル（6kVCVT：6kVトリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース電力ケーブル）

2. ロードマップ

- 他の一般送配電事業者と共同して、2019年度末を目処に仕様統一化に向けた検討を実施してまいります。
- また、仕様統一化された品目については、速やかに共同調達などの最適な調達を行うことにより、調達価格低減を図ってまいります。

<ロードマップ>

	2018	2019	2020	2021	2022
仕様統一		<p>【架空送電線(ACSR/AC)】 アルミ電線の内、ACSRをACSR/ACに統一</p> <p>【ガス遮断器(66kV・77kV)】 66kV・77kVのガス遮断器の各社個別仕様を統一</p> <p>【地中ケーブル(6kVCVT)】 6kVCVTケーブルの各社個別仕様を統一</p>			
調達の工夫			<p>【架空送電線(ACSR/AC)】 【ガス遮断器(66kV・77kV)】 【地中ケーブル(6kVCVT)】 共同調達、まとめ発注、 コスト低減提案の募集等の検討・実施</p>		<p>PDCAを回しながら効率化を図る</p> <p>PDCA → PDCA</p>

3. 仕様の統一

【架空送電線 (ACSR/AC)】

- 一般的に用いられるアルミ電線には、ACSRと、より耐食性が高いACSR/AC がありますが、スケールメリットによる価格低減に向け、2019年度末を目途に他の一般送配電事業者とACSR/ACに統一してまいります。

【ガス遮断器 (66kV・77kV)、地中ケーブル (6kVCVT)】

- メーカー製造工程の効率化やスケールメリットによる価格低減に向け、2019年度末を目途に他の一般送配電事業者と仕様を統一してまいります。

具体的な取組内容・施策

【架空送電線 (ACSR/AC)】

- 一般的に用いられるアルミ電線には、ACSRとACSR/ACがありますが、耐食性がより高いACSR/ACに統一することによる不具合がないかを検証しつつ、統一を目指していきます。
- 新設のみならず、既設についても設備更新の機会を捉えて、ACSR/ACで対応していきます。

【ガス遮断器 (66kV・77kV)】

- 他の一般送配電事業者の現状仕様を把握し、標準仕様を設定することでスケールメリットを拡大します。
- 新設のみならず、既設についても設備更新の機会を捉えて、新仕様で対応していきます。

【地中ケーブル (6kVCVT)】

- 他の一般送配電事業者の知見を反映した試験方法、材質等の個別仕様の取捨選択を実施し、標準仕様を設定することでスケールメリットを拡大します。
- 新設のみならず、既設についても設備更新の機会を捉えて、新仕様で対応していきます。

4. 調達の工夫

- 設備仕様の標準化による品目別の市場変化を踏まえ、調達コスト削減を目的とした「競争拡大」や「調達の工夫」などに取り組んでまいります。
- 具体的には、今後、以下の「統一化品調達割合」や「競争発注比率」などの管理目標を設定し、その目標達成に向け、取り組んでまいります。

<管理目標>

分類	項目	説明（年度比較）	品目	現行値	目標値 (2022年度)
仕様統一 状況	統一化品 調達割合	仕様統一品の購入（個別仕様品の 排除）によりコスト削減を目指す	架空送電線	99.7%	100%
			ガス遮断器	0%	
			地中ケーブル	0%	
競争拡大	競争発注 比率	競争環境構築・維持によりコスト 削減を目指す	架空送電線	100%	100%
			ガス遮断器		
			地中ケーブル		
	取引先 拡大数	競争環境の活性化を図る	架空送電線	4社	拡大
			ガス遮断器	4社	
			地中ケーブル	6社	
調達の工夫 (次頁参照)	施策実施率	各社で実施している調達の工夫を 展開し、コスト削減を図る	架空送電線	67%	100%
			ガス遮断器	17%	
			地中ケーブル	67%	

■ コスト削減を期待した以下の調達方法から、市場に応じた最適な調達を実行してまいります。

<調達方法（調達の工夫）>

発注施策 (買い方)	内容	2018年度の施策実施状況		
		架空 送電線	ガス 遮断器	地中 ケーブル
新規取引先 開拓	競争環境の活性化のため国内外から新規取引先を開拓	×	×	×
まとめ発注	複数案件の契約時期を合わせて調達量を増やし、スケールメリットを得る（共同調達を含む）	○	○	○
コスト低減 提案の募集	取引先から調達方法などの調達全般に関するコスト低減提案を募る	×	×	×
複数年契約	通常の契約期間を長期化することで優位な条件にて契約する施策	○	×	○
早期発注	取引先の生産計画平準化を目的として納期的裕度を持たせた発注	○	×	○
シェア別 発注	複数案件をまとめて提示し、競争の結果により取引先にシェアを配分	○	×	○
施策実施率		4/6 (67%)	1/6 (17%)	4/6 (67%)